

令和九年度採用

山梨県公立学校教員選考検査

高等学校・書道 問題

「始め」という合図があるまで、このページ以外のところを見てはいけません。

注 意

- 一 この問題は七問五ページで、時間は六十分です。
- 二 解答用紙は、別紙で配付します。「始め」の合図で始めてください。
- 三 解答は、それぞれの問題の指示に従って解答用紙に記入してください。
- 四 「やめ」の合図があったら、すぐやめて係の指示に従ってください。
- 五 解答用紙を持ち出してはいけません。

高等学校 書道

一 書道に関する次の(一)～(五)の問いに答えよ。

- (一) 「背臨」とは何か説明せよ。
- (二) 「双鉤填墨」とは何か説明せよ。
- (三) 「印床」とは何か説明せよ。
- (四) 「懸腕法」とは何か説明せよ。
- (五) 学校教育で学ぶ仮名が「平仮名」に統一されたのは、何年のことか記せ。(西暦、和暦どちらでも可)

二 次は、平安時代の著名な書家による書の一部を示したものである。後の(一)～(三)の

問いに答えよ。

① 弘仁三年十一月十五日於高峯山
寺文金剛象灌頂人磨石
釋家澄日 播磨大板和氣真經

② 霜以無明長夜戒兄為炬滅
漫軌範本又為師所賦
傳比立朕鑒於と並之食

③ 九燭臺前十二妹主人田醉
狂歡娛飄飄舞袖雙花蝶

④ 側聞惟父惟母為心悲
く方彼無上大覺

(一) ①～③の作者の名前を漢字で記せ。

(二) ③と④の作品名を漢字で記せ。

(三) ①～④のうち、三跡による書を一つ選び番号を記せ。

三

「蘭亭序」に関する(一)～(三)の問いに答えよ。

(一)「蘭亭序」の作者とされる人物名を漢字三字で記せ。

(二) 蘭亭はどこか、地図中のA～Dの中から選び、記号で答えよ。ただし、地図は現代のものである。



(三)「神龍半印本」について説明せよ。

四

篆書に関する次の文章について、後の問いに答えよ。

(一) ①の(一) ②は、文字や度量衡を統一することで支配を徹底させようとした。その文字である(三)の特徴は、字形がおおむね縦長で、起筆は(四)、転折は丸く滑らかであり、(一) ①時代に建てられたAなどは、それらの特徴が典型的にみられる作品である。

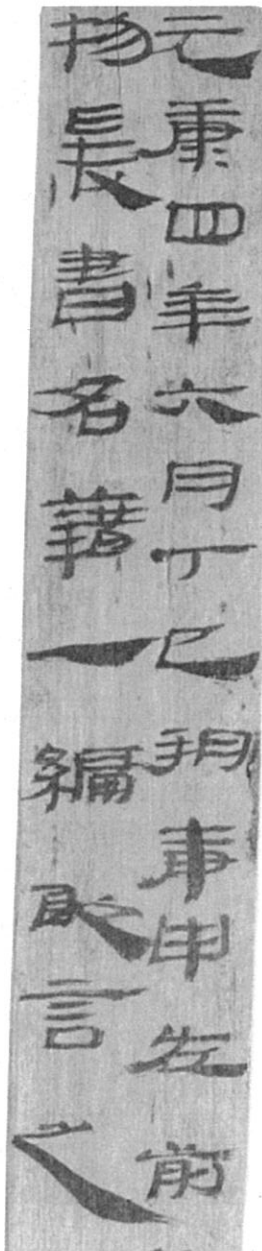
(二) ①②③④にあてはまることばを、次の選択肢の中から一語ずつ選び記せ。

- ① (秦・漢・唐・清)
- ② (太宗・玄宗・始皇帝・乾隆帝)
- ③ (甲骨文・金文・大篆・小篆)
- ④ (方筆・節筆・露鋒・藏鋒)

(二) A にあてはまることばを記せ。

五

次は、漢字の書の教材として用いられる木簡を示したものである。後の(一)、(二)の問いに答えよ。



(一) 右の木簡が書かれた時代名を漢字で記せ。

(二) この教材を隷書の学習の導入として扱うこととし、単元名を「隷書に親しもう」と設定する。

① この単元において、生徒が、古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付けるために、どのような授業の展開が考えられるか、具体的に記せ。

② 木簡を教材として、用具・用材の特徴と表現効果の関わりについて理解を深めるには、どのような指導方法が考えられるか、具体的に記せ。

六

次の(一)、(二)の問いに答えよ。

(一) 次は、高等学校学習指導要領(平成30年告示)「第2章 各学科に共通する各教科 第7節 芸術 第2款 各科目 第10 書道I」の「B 鑑賞」の一部である。①と②にあてはまることばを記せ。なお、同じ番号には同じことばが入るものとする。

(1) 鑑賞

鑑賞に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、次の(ア)及び(イ)について考え、書の高さや美しさを味わって捉えること。

(ア) 作品の価値とその根拠

(イ) (①) や社会における書の効用

イ 次の(ア)から(エ)までについて理解すること。

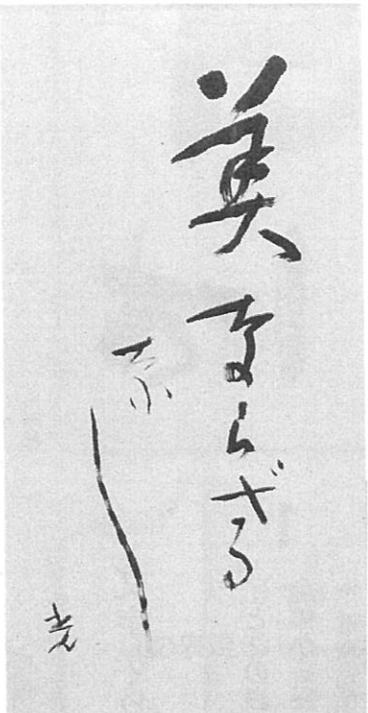
(ア) 線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり

(イ) 日本及び中国等の文字と書の(②)と文化

(ウ) 漢字の書体の変遷、仮名の成立等

(エ) 書の(②)的な鑑賞の方法や形態

(二) 次の作品は一九五〇年頃に書かれたものである。書道Iの鑑賞教材として一時間の授業を計画する。後の①～③に答えよ。



① この書の作者名を漢字で記せ。

② 授業を計画するにあたり、生徒に身に付けさせたい事項を(一)に示す「(1) 鑑賞」の(ア)・(イ)と考えたとき、この教材のどのような点に着目させるか、授業のねらいと共に記せ。

③ ②に基づいて授業を行う場合の授業の流れを、解答用紙に記せ。

七

次の(一)、(二)の問いに答えよ。

(一) 次は、高等学校学習指導要領の芸術科書道における「共通事項」において、「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して身に付ける事項を示したものである。

イ 書を構成する要素について、それら()がもたらす働きと関わらせて理解すること。

() に入ることばを、次の選択肢の中から選び記号で答えよ。

- a 相互の視点
- b 相互の観点
- c 相互の調和
- d 相互の関連

(二) 書道Iにおいて、(一)に示した「共通事項」イを踏まえながら、「仮名の書」を題材として表現と鑑賞を関わらせた授業を考える。教材名、本時の目標などを提示し、生徒が興味をもち、書道科で育む資質や能力が高められるような工夫のある授業の例を、わかりやすく解説せよ。なお、今回は題材の中の一時間とし、生徒がICTを活用する場面を設定すること。